令和5年度　熊本県立人吉高等学校　五木分校　シラバス

教科	国語	科目（単位数）	論理国語（３）	学年	2	類型	普通科

学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （2）論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （3）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

期間	単元（学習内容）	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法
【１学期】 ４月 ～ ５月	①新しい発見 「新しい地球観」（毛利衛） 【領域：読むこと】	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。	・オーサグラフ地図の特徴を捉え、筆者が述べる「新しい世界観」との関連について考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に本文や図版を照合し、筆者の主張を捉えようとしている。 ・学習課題に沿って地図の描かれた時代背景や見る人の世界の見方について考え、積極的に発表しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出
【１学期】 ６月 ～ ７月	②言葉と文化 「名所絵はがきの東西」（高階秀爾） 【領域：読むこと・書くこと】	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。	・絵はがきを例に筆者が東西の自然観をどのように捉えているか把握し、自分の考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に名所絵はがきの特徴を理解し、筆者の主張と照合して説明しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出
【１学期】 ７月	③実用文 「法に関わる文章を読み比べる」 【領域：読むこと】	・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。	・二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。 ・関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 ・文章の構成や表現のしかたについて、多面的・多角的な視点から評価する。 ・特定の資料について、さまざまな観点から概要などをまとめる。	・異なる形式で書かれた複数の実用的な文章を粘り強く読み、解釈したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、関連付け、解釈しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出
【２学期】 ９月 ～ １０月	④生活の中の表現（読み比べ） 「情けは人の･･･」（俵万智） 「犬も歩けば棒に当たる」（阿刀田高） 【領域：読むこと】	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・一つのことわざについて複数の解釈を提示する文章を読んで、日本語の多様性について理解を深める。	・本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 ・関連するテーマの文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。	・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・積極的に本文中の表現について指摘し、その表現が文章にもたらす効果を説明しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出
	⑤表現編　「レポートを書く」（資料を集めて情報を整理する） 【領域：書くこと】	・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。	・目的に応じた資料を適切に探す方法を理解する。 ・資料の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 ・集めた情報を的確に整理する方法を理解する。 ・設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。	・目的に応じた資料を粘り強く探そうとしている。 ・積極的に資料の信頼性や妥当性を確かめ、目的や意図に応じて選別しようとしている。 ・集めた情報を適切に整理しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出
【２学期】 １０月 ～ １１月	⑥人間と文化 「ヒトはなぜヒトになったか」（長谷川眞理子） 【領域：読むこと】	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。	・因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・ヒトの進化の過程とその要因について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。	・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・積極的に筆者の主張に対する考えをまとめ、発表しようとしている。 ・本文中の表現について、粘り強く適切な意味を把握し、説明しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出
	⑦表現編「レポートを書く」（得られた情報を分析して報告するテーマを絞り込む） 【領域：書くこと】	・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	・資料をもとに考えを整理する方法を理解する。 ・レポートのアウトラインを作成する方法を理解する。 ・実際にレポートを書く方法を理解する。 ・設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。	・教科書の例を参考に、資料から適切な情報を取り出し、説明や表現の仕方を工夫して、積極的にレポートの内容を書き直そうとしている。 ・情報を整理し、アウトラインを作ってレポートを書くというレポートの作成手順を粘り強く理解しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出
【２学期】 １１月 ～ １２月	⑧自己と社会 「鏡としての他者」（榎本博明） 【領域：読むこと】	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。	・文章構造をもとに筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・自己と他者との関係について述べた文章の内容を基に、自分の考えを発表する。	・本文を読んで、日常生活において自己イメージを意識する場面について考え、進んで話し合おうとしている。 ・積極的に指示的な語句の効果を考え、説明しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出
	⑨表現編「レポートを書く」（構成を考えてレポートを書く） 【領域：書くこと】	・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	・資料をもとに考えを整理する方法を理解する。 ・レポートのアウトラインを作成する方法を理解する。 ・実際にレポートを書く方法を理解する。	・教科書の例を参考に、資料から適切な情報を取り出し、説明や表現の仕方を工夫して、積極的にレポートの内容を書き直そうとしている。 ・情報を整理し、アウトラインを作ってレポートを書くというレポートの作成手順を粘り強く理解しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出
【３学期】 １月 ～ ２月	⑩実用文 「法に関わる文章を読み比べる」 【領域：読むこと】	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。	・二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。 ・関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 ・特定の資料について、さまざまな観点から概要などをまとめる。	・異なる形式で書かれた複数の実用的な文章を粘り強く読み、解釈したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、関連付け、解釈しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出
【３学期】 ２月 ～ ３月	⑪表現編「レポートを書く」「書いたレポートを評価・分析して修正する」 【領域：話すこと・聞くこと】	・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	・書き上げたレポートを評価するポイントを理解する。 ・指摘された修正点をふまえて、実際にレポートを修正できるようになる。 ・自分の考えが的確に伝わるように書かれているか、読み手の評価も参考にして文章を吟味し、書き直す。	・学んだことをもとに、積極的にレポートを書こうとしている。 ・書いたレポートを相互評価し、批評を踏まえて粘り強く修正しようとしている。	知：指名音読・定期考査 思：発問評価・調査とまとめ・定期考査 態：授業態度・発表・報告・学習課題の提出・ノートの提出

使用教材 （教科書・副教材）	「高等学校　標準　論理国語」（第一学習社）・「新訂版 最新国語便覧」（浜島書店） 「トリプルアプローチ 字義で覚える常用漢字」（浜島書店）・「ちくま文学購読初級編」（筑摩書房）
学習方法	・　わからない語句などは辞書を有効に使い、意味調べを行う。　・　作品を読み終えた後は、感想や筆者の主張に対する意見をまとめる。 ・　授業では漫然とノートを写すだけではなく、筆者および作者が伝えようとしていることは何か、常に意識しながら読み進める。 ・　授業中は先生の話や他の生徒の発言をしっかりと聞き、メモを取ったり自分の意見と比べたりする。 ・　ノートをきれいに取るのが目標ではなく、復習するときに利用しやすいように書くことを心がける。 ・　授業の理解度向上のために「日々の課題」にも着実に取り組む。・　話し合い活動等の協働学習に積極的に参加し、自分の意見を深める。
評価について	各単元で設定された目標に対する観点別評価を行う。評価方法は、授業態度や授業内の協働学習での取組み、小テスト、提出物、定期考査などである。各単元における評価方法は、上記【※評価方法】の通りである。各単元及び各学期における観点別の評価と、学年末における観点別の評価をもとに総合的な評価を行い、学年末に５段階の評定に総括する。